浜の駅再開へ一丸

岩泉・小本 台風で床上浸水

台風19号で床上浸水した岩泉町小本の「浜の駅おもと愛土館」（金沢寿弘支配人）は16日、被災した商品の整理や機械設備の電気系統検査、備品の清掃作業などに追われた。東日本大震災で被災した地域のにぎわい創出に向けて2年前に町が開業した施設で、関係者は一日も早い再開へ一丸で作業を急ぐ。

関係者、清掃作業急ぐ

産直スペースの泥出し作業をする関係者

同施設は、台風19号の豪雨で山から流れ込んだ沢水や氾濫した小本川の水が押し寄せ、床上約50㌢まで浸水。冷蔵庫や冷凍庫、魚の加工に使う機材のほか、専用の商品陳列ケースなども被災した。

早期の営業再開につなげようと、14日には岩泉高の野球部員が駆け付け、駐車場や施設にたまった泥の撤去、備品の洗浄作業などを手伝ったほか、15日は同施設を管理する小本浜漁協の関係者ら約10人が、食堂や産直の売り場、魚の加工場の機材や備品の清掃、点検などに汗を流した。

同施設は、町が震災後の地域活性と交流人口増を目指して総事業費約3億5千万円を投じて整備し、2017年9月にオープン。地元の海の幸や魚の加工品、食堂で味わえる新鮮な海鮮丼などが県内外から訪れた人たちの人気を集めてきた。

開業して2年で訪れた試練に金沢支配人は「食堂や加工場は復旧に時間がかかる。常温で置ける加工品などで対応し、産直スペースだけでも一日も早く再開したい」と力を込める。

台風被災者に入浴施設開放

湯ったり館

宮古　宮古市茂市の湯ったり館（山口公正社長）は17日から、台風19号で被災し自宅の風呂が使えない人を対象に入浴施設を無料開放する。31日まで。

入浴を希望する人は来館時に氏名や住所を記帳する。被災したことを示す書類は不要。

同館は東日本大震災や2016年台風10号豪雨の後にも入浴施設の無料開放を行ってきた。山口社長は「一日も早く復旧復興へ力になりたい。入浴で少しでも心身を癒やしてほしい」と思いを寄せる。

同館は国道106号沿いに立地し、食堂でアユやサクラマスなど季節の料理も楽しめる。

入浴時間は朝風呂が午前7時～同9時、通常営業が同10時～午後10時（最終受け付けは朝風呂、通常営業とも終了の30分前まで）。問い合わせは同館（0193・72・3800）へ。

アイガモ生産痛手

「三セク甘竹」敷地崩れ600羽廃棄

田野畑　台風19号の影響で、アイガモ生産を手掛ける田野畑村の第三セクター甘竹田野畑（甘竹秀企社長）の肥育鶏舎敷地のり面が崩落し、約600羽が廃棄処分となった。

被害に遭ったアイガモは生後20日前後のひな。12日夜に約1200羽が肥育されている鶏舎に水や土砂が流入。それを避けるため、ひなが重なり合い圧死したとみられる。

1989年にアイガモ事業を始めた同社は現在、1日当たり1650羽、年間40万羽以上を生産し全国に出荷。業界トップクラスのシェアを誇る。

鍋料理などで需要が高まる中での被害に細谷弘事業部長は「流通に影響が出ないよう、増産を図るなど調整していく。崩落が再発しないよう対策を講じたい」としている。

ボランティアセンター次々

山田、宮古、岩泉で開設

田野畑はあす設置予定

山田町は16日、台風19号豪雨の災害ボランティアセンターを開設した。宮古市と岩泉町も同日までに開設。田野畑村は18日の開設を予定している。

山田町は町保健センターにボラセンを開設。初日は町内から92人のボランティアが参加し、同町船越の田の浜地区などで作業した。ボランティア参加希望と、住民からの派遣要請の連絡先は080・5743・2679か080・5743・6731。問い合わせ時間は午前8時半～午後4時。

宮古市はイーストピアみやこにボラセンを設置。当面の間は市内在住者に絞って募集する。参加希望の連絡先は090・1069・0461、派遣要請の連絡先は090・1069・8213。問い合わせ時間は午前9時～午後4時。

岩泉町は、町社会福祉協議会内にボラセンを設置。参加希望と派遣要請の申し込みはいずれも同協議会（0194・22・3400）へ。問い合わせ時間は午前9時～午後3時。

田野畑村は18日に島越地区コミュニティーセンターを拠点としてボラセンを開設する。基本的に活動は金、土、日曜日を予定。参加希望と派遣要請はいずれも村社会福祉協議会（0194・33・3025）へ。問い合わせ時間は午前9時～午後4時。

友好の支援物資

青森・鰺ケ沢町、市に贈る

久慈　青森県鰺ケ沢町は16日、友好協定を結んでいる久慈市に飲料水などの支援物資を届けた。両市町は長年にわたり交流を続けており、物資を通じて早期の復旧を後押しした。

支援物資は2㍑入り飲料水600本と20㌔入りの消石灰70袋。同町の平田衛町長と職員8人が市役所を訪れ、4㌧トラックで物資を届けた。物資は市内の施設などに搬送された。平田町長は遠藤譲一市長らから被害状況を聞き、市内の廃棄物置き場などを見学した。

遠藤譲一市長に支援物資を手渡す平田衛町長（左）

両市町は津軽藩始祖の大浦光信公が、出身地久慈から津軽地方に入ったとされる歴史的な縁から交流が発展。2018年に「歴史文化で結ぶ友好協定」を結んだ。1983年日本海中部地震や東日本大震災、16年台風10号などの際、被災した相手への支援を行っている。

平田町長は「一日も早く通常の生活に戻ることを願っている」と語り、遠藤市長は「多忙の中、被災直後の支援は本当にありがたい」と感謝した。

沿岸

久慈支局　0194（53）3030
宮古支局　0193（62）1771
釜石支局　0193（23）5107
大船渡支局　0192（27）3070
陸前高田支局　0192（55）2590

販売店

大野（77）2546	岩泉（22）2304
八木（67）2241	小川（25）4063
中野（67）2126	区界（77）2101
種市（65）5165	釜石（25）1250
久慈（52）1114	唐丹（55）3016
久慈湊（53）2895	鵜住居（28）3244
侍浜（67）2126	大槌（42）5691
山形（72）2039	大船渡（26）3122
野田（78）3567	盛（27）1980
普代（35）3545	末崎（56）4910
みやこ（62）1615	越喜来（44）3568
みやこ河南（65）0555	高田（55）2710
津軽石（65）0555	小友（56）2235
田老（87）2062	広田（56）4910
山田（82）9517	住田（46）2544
小本（28）2047	気仙沼（22）0202

まちだより

▼宮古市▽川井地域・健康相談　18日13時30～14時30・古田コミュニティ消防センター。講話「糖尿病予防（食生活）」など。

▼久慈市▽1歳6カ月児健診　18日13～13時30受け付け・元気の泉。歯ブラシ持参。対象は2018年3月生まれ。

▽こはくのまちの保健室　18日10～12時・ふくしサロン「しあわせSUN」。気軽に健康相談。問い合わせは同サロン（61・3933）へ。

▽オレンジカフェ「こはく」　18日13～14時45・ふくしサロン「しあわせSUN」。高齢者、認知症の心配な方や認知症の人も立ち寄れる。予約制。申し込みは市地域包括支援センター（61・1557）へ。

市町村長きょうの日程

▽戸羽陸前高田市長　市議会・決算等特別委員会
▽戸田大船渡市長　庁内用務
▽野田釜石市長　市議会・一般質問
▽山本宮古市長　台風災害対応
▽神田住田町長　庁内用務
▽平野大槌町長　町議会
▽佐藤山田町長　台風災害対応
▽中居岩泉町長　台風災害対応
▽石原田野畑村長　庁内用務
▽遠藤久慈市長　災害対応
▽水上洋野町長　食生活改善推進協議会ヘルシーレストラン、町内企業操業記念式典、来客対応
▽小田野田村長　庁内用務
▽柾屋普代村長　災害対応

いわて漁業無線情報（16日）

◆釜石無線局所属船

▼指導調査船

北上丸	12時N39.40E142.01 水温18.6気温14.5気圧1025　風E4.5㍍ 波1ウネリNE1天気晴れ雲量2　7時50釜石発仔稚魚および動物プランクトン調査中　終了後　釜石向け15時20入港
海翔	8時30大船渡出港宮古向け航走中　14時ごろ宮古入港予定

▼マグロはえ縄船

18欣栄丸	53回目操業中（インド洋）
53欣栄丸	16時焼津発気仙沼向け回航中（日本近海）
83欣栄丸	39回目操業中（中西部太平洋）
85欣栄丸	操業中（南部大西洋）
88欣栄丸	入れず（北部大西洋）
128欣栄丸	15回目操業中（東部太平洋）
138欣栄丸	58回目操業中（北部大西洋）
151欣栄丸	操業中（北部大西洋）
158欣栄丸	10回目操業中（中北部太平洋）
51勝運丸	11時三崎出港　漁場向け（日本近海）
151勝運丸	操業中（中北部太平洋）
68清福丸	操業中（インド洋）
78清福丸	操業中（インド洋）
88清福丸	操業中（インド洋）
21新生丸	操業中（日本近海）

▼サンマ船

36欣栄丸	花咲向け　23時花咲に入る（北海道沖）
65欣栄丸	公海漁場向け中（北海道沖）
108欣栄丸	陸寄に調査中（北海道沖）
6新興丸	帰航中（北海道沖）

津波てんでんこ

備えの大切さ感じて

陸前高田市小友町
東日本大震災津波伝承館解説員
戸羽　純子さん（57）

県内外や外国の人が伝承館を訪れ、温かい言葉を掛けてもらっている。津波の映像を見て涙したり、破壊力のすごさに驚く人もいた。最後まで見ることができなかった地元の人もいた。さまざまな災害が発生する中、津波だけではない災害への備えの大切さを感じてほしい。震災で経験したことや実際に見てきたものをしっかり伝えていきたい。

題字　山下文男さん

この紙面の著作権は岩手日報社が保持しています。無断転載、複製及び配布は禁止します。